

# 鈴鹿亀山道路有識者検討会（令和4年3月8日開催） 議事録

## 1. 日時・場所

令和4年3月8日（火）11:00～12:00

吉田山会館2階 第206会議室



## 2. 委員（五十音順・敬称略）

委員長	名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科教授	松本 幸正
委員	三重大学人文学部法律経済学科教授	朝日 幸代
	亀山商工会議所会頭	岩佐 憲治
	三重大学副理事・副学長（研究・防災担当）	酒井 俊典
	鈴鹿商工会議所会頭	田中 彩子



## 3. 議事

(1) 鈴鹿亀山道路に係る新規事業採択時評価について

## 4. 議事録

○委員会規約について

- ・ 規約第8条3項では非公開とする場合を規定しているが、今回の会議の内容は、非公開に該当しないため公開とし、事務局にて議事概要を作成し、委員の確認を得た後にホームページ等で公表する。
- ・ 規約第6条の委員の任期について、令和5年3月31日までに延長する。

(1) 鈴鹿亀山道路に係る新規事業採択時評価について

- ・ 鈴鹿市内は産業集積地であるが、他都市と比較しても IC アクセス性に問題を有するため、安全で確実な物流に寄与し、生産性が向上など周辺地域の企業活動を支援する道路として必要である。
- ・ 本事業による新たな東西軸の幹線道路整備により、県内・県外の広域連携の強化に資する選択性のあるネットワークが確保される。
- ・ 防災の観点では、鈴鹿市周辺の国道1号・国道23号は津波浸水による機能不全が想定されているため、高速道路から沿岸部に向かう新たなネットワーク形成により防災性が向上する。
- ・ 産業だけではなく国土強靱化を支える道路として、まずは、繋げるということを重視して暫定2車線での早期整備が必要。
- ・ 有料道路事業の活用などについて、今後検討を行う予定である。
- ・ B/Cでの3便益以外の便益が色々あるので、アピールして必要な道路であることの周知が必要。
- ・ 事務局で把握している便益について

### ①高速道路アクセス性向上

鈴鹿市街地から亀山JCTまで【現況】26分⇒【整備後】15分（約11分短縮）

鈴鹿市高速道路15分圏域【現況】38%⇒【整備後】46%（約8%増加）

### ②交通安全性の向上

本事業により、市街地内における産業交通等の交通転換に伴い、並行路線等の交通量が減少し、渋滞緩和や安全性の向上が期待できる。

### ③救急医療活動を支援

野登小学校から鈴鹿中央総合病院まで【現況】29分⇒【整備後】21分（約8分短縮）

鈴鹿中央総合病院の10分到達圏域（鈴鹿市）増加【現況】24%⇒【整備後】30%（約6%増加）

### ④防災性の向上

鈴鹿亀山地域に向かう国道1号や23号は、津波浸水による寸断の恐れがあるが、高速道路から沿岸部に向かう新たなネットワークが形成され、大規模災害時の迅速な救援・救助、復旧・復興が可能になる。

### ⑤観光地へのアクセス向上

観光地（鈴鹿サーキット（204万人/年、令和元年）へのアクセス向上が期待される。

- ・ 中央道路は夕方に渋滞し、救急車が鈴鹿中央総合病院に行くのに苦労しており、早期整備が望まれる。
- ・ 環境改善として、道路の整備により自動車からのCO2やNO2等の排出量が削減される。
- ・ 企業の生産性向上による収益改善効果をヒアリングで確認すれば、便益として地域の貢献になる。
- ・ サービス水準の向上を図るため、コンセッションについても検討すること。
- ・ 鈴鹿亀山道路の新規事業化については、妥当と判断する。